

2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

極東開発工業株式会社



極東開発のグループ構成

極東開発工業株式会社

特装車事業

85.7%

- **製造・販売・サービス**
(グループ会社) 国内2社
海外4社: 中国、インドネシア、インド
- **サービス・中古車販売**
(グループ会社) 国内3社
- **調達**
(グループ会社) 海外1社: 中国

環境事業

8.3%

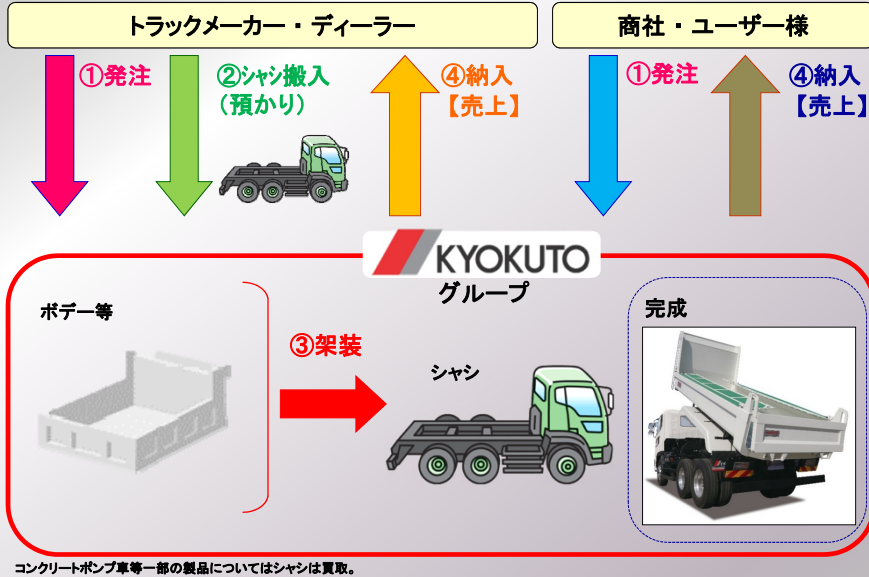
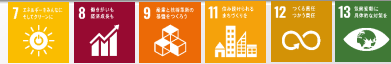
- **リサイクル施設の建設**
- **運転受託・メンテナンス**
(グループ会社) 国内4社

不動産賃貸等事業

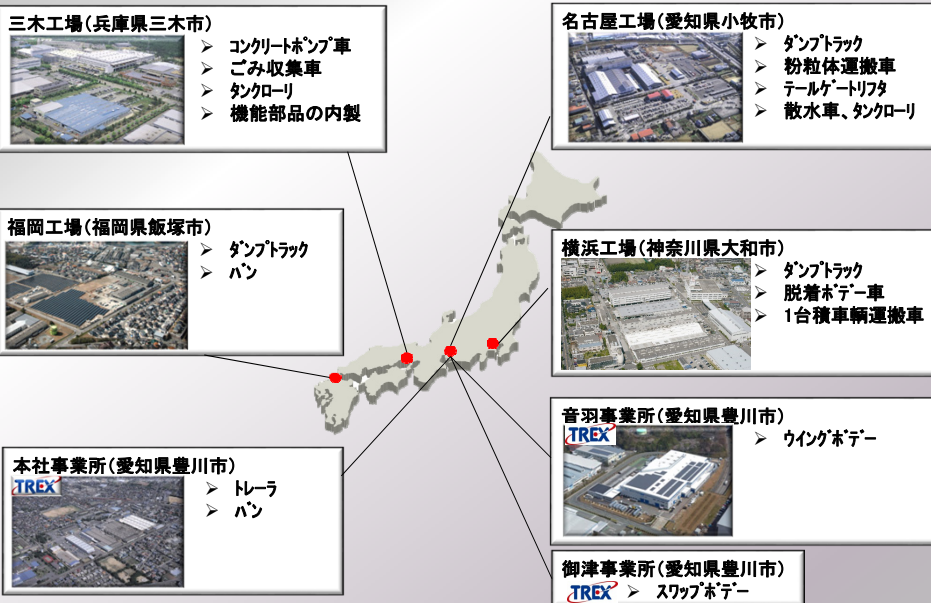
6.0%

- **立体駐車装置、コインパーキング**
(グループ会社) 国内3社

特装車事業



国内生産体制



グループ主力製品



<数値はシェア 当社調べ(2021年9月末)>

赤字:シェア1位製品
青字:シェア2位製品



コンクリートポンプ車



粉粒体運搬



トレーラ



1台積車輛運搬車



タンクローリ・散水車



テールゲートリフト



ダンプトラック



脱着ホデー車



ごみ収集車



ウイングホデー車

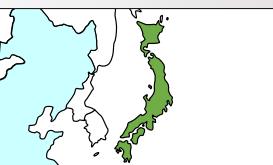
海外生産体制



インド工場 (グループ化: 2020年9月)



- > ダンプトラック
- > トレーラ
- > タンクローリ



昆山工場 (操業開始: 2005年4月)

极东开发(昆山)机械有限公司



- > ミキサトラック

インドネシア工場 (操業開始: 2014年2月)

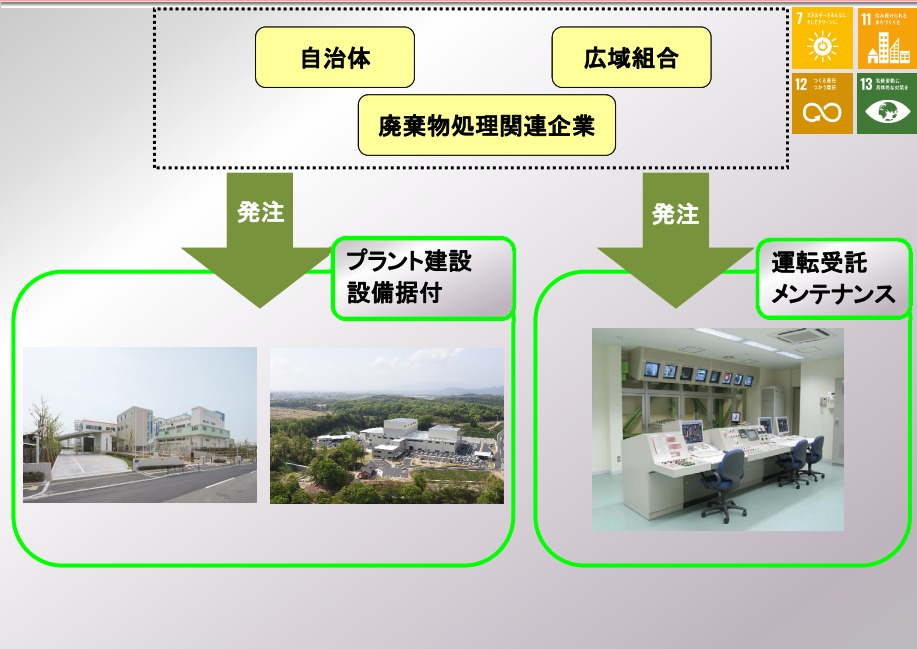
PT KYOKUTO INDOMOBIL MANUFACTURING INDONESIA



- > ダンプトラック
- > ミキサトラック
- > テールゲートリフト

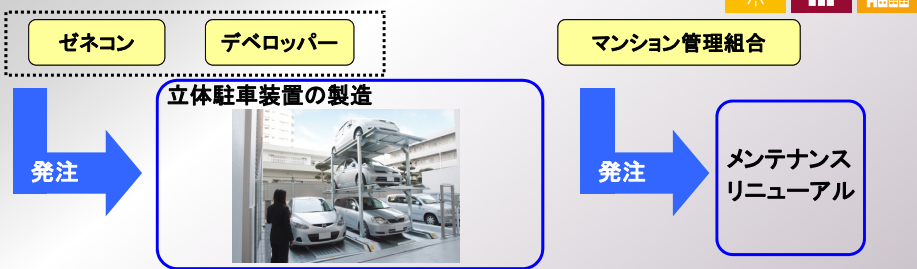


環境事業

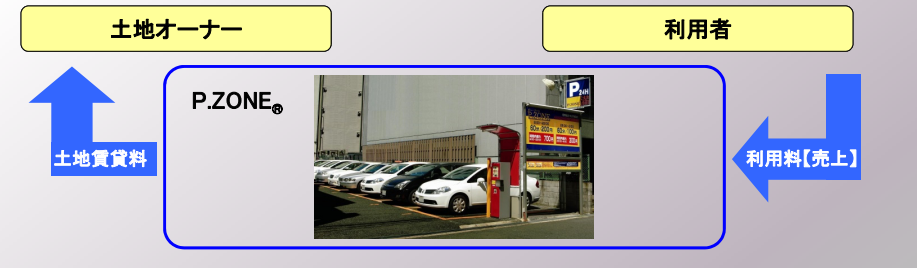


不動産賃貸等事業

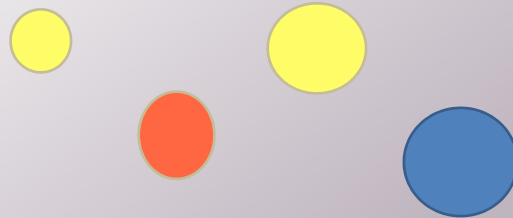
【立体駐車装置】



【時間貸駐車場】

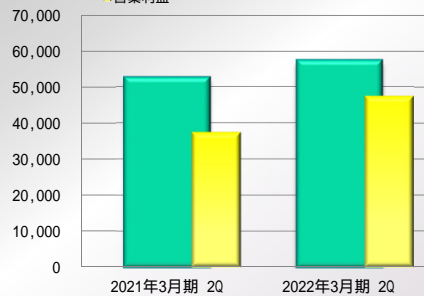


2022年3月期 第2四半期 連結決算実績



2022年3月期第2四半期 連結決算

売上高(百万円)
営業利益



売上高(前期比)

◆ 特装車事業	+4,272百万円	+9.4%
◆ 環境事業	+303百万円	+6.7%
◆ 不動産賃貸等事業	+170百万円	+5.2%

営業利益(前期比)

◆ 特装車事業	+560百万円	+20.9%
◆ 環境事業	△47百万円	△7.3%
◆ 不動産賃貸等事業	+84百万円	+18.9%

	2021年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	前年比	
売上高	52,768	57,494	+4,726	+9.0%
営業利益	3,215	4,077	+861	+26.8%
経常利益	3,124	4,231	+1,107	+35.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,780	2,761	△19	△0.7%

2022年3月期第2四半期 連結貸借対照表



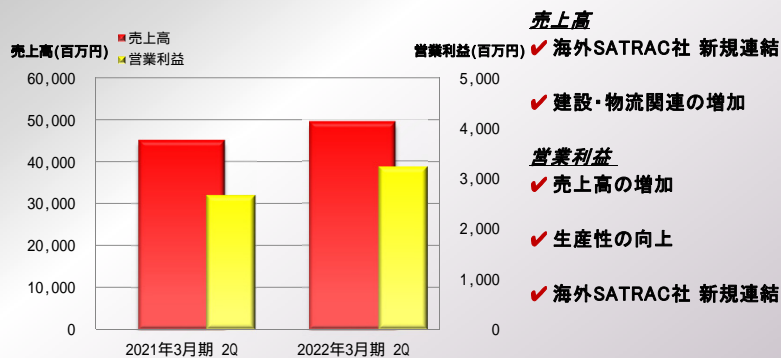
- ✓ 資産合計は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少等により**減少**
- ✓ 負債合計は、未払法人税等の減少、長期預り保証金の減少等により**減少**
- ✓ 純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により**増加**

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期 2Q実績	増減
流動資産	84,323	82,482	-1,841
固定資産	58,417	59,580	1,162
資産合計	142,740	142,062	-678
流動負債	36,742	33,618	-3,124
固定負債	5,411	5,810	399
負債合計	42,153	39,429	-2,724
株主資本	95,468	97,378	1,910
その他の包括利益累計額	4,814	4,939	125
純資産合計	100,587	102,632	2,045
負債純資産合計	142,740	142,062	-678
自己資本率	70.3%	72.0%	

11

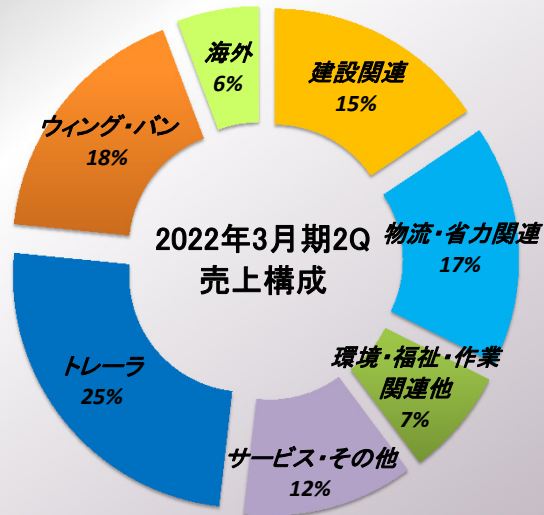
2022年3月期第2四半期 特装車事業



	2021年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	前期比	
売上高	45,230	49,503	+4,272	+9.4%
営業利益	2,676	3,236	+560	+20.9%

12

2022年3月期第2四半期 特装車事業

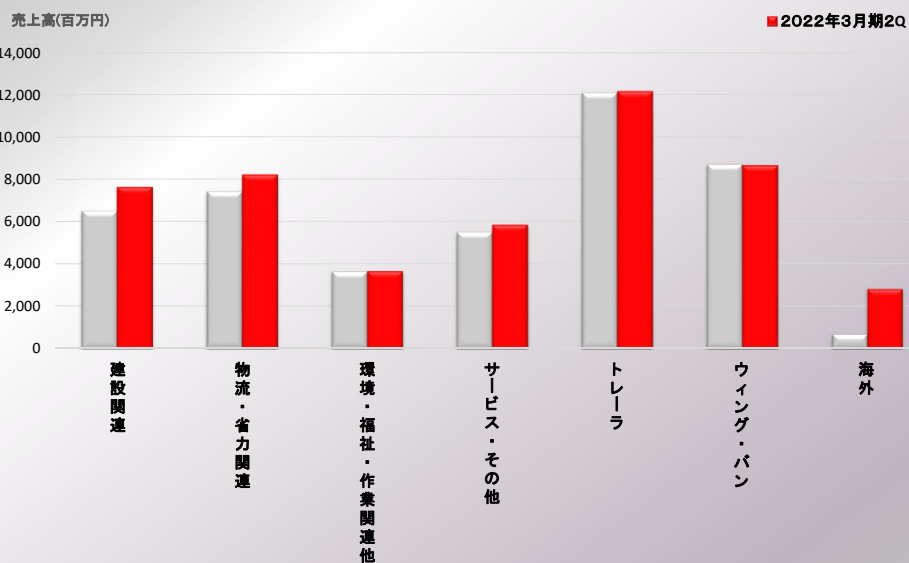


13

2022年3月期第2四半期 特装車事業

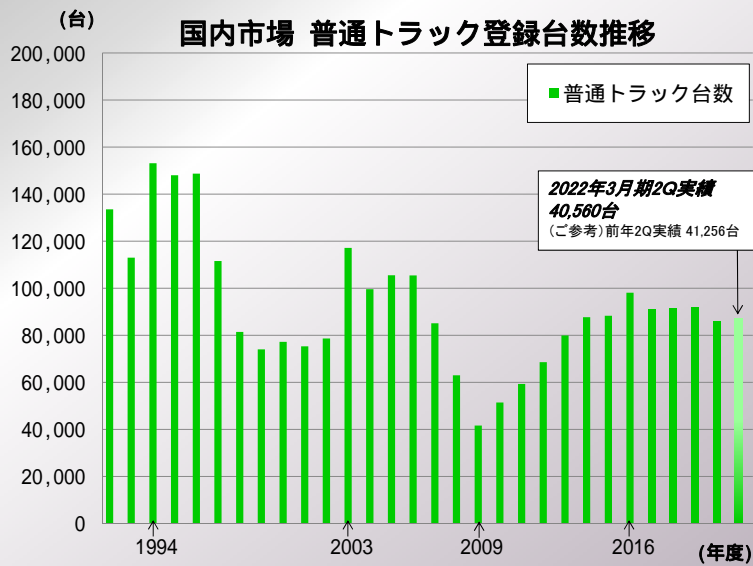


特装車事業売上高構成



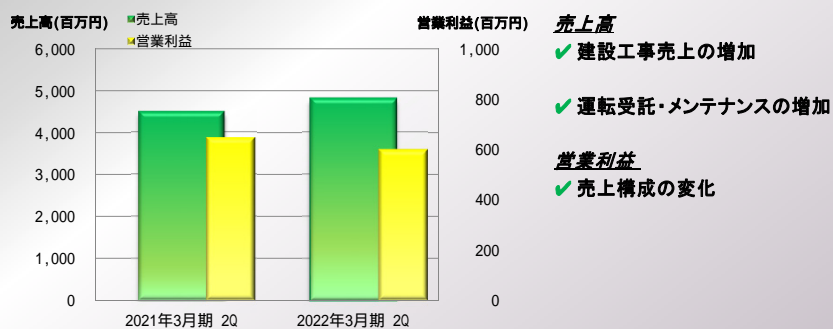
14

2022年3月期第2四半期 特装車事業(市場環境)



15

2022年3月期第2四半期 環境事業



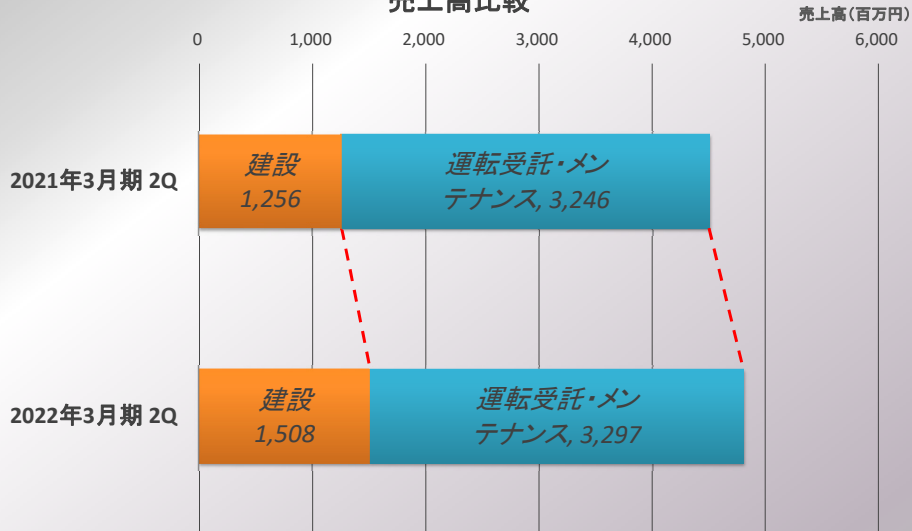
	2021年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	前期比	
売上高	4,502	4,805	+303	+6.7%
営業利益	647	600	△47	△6.3%

16

2022年3月期第2四半期 環境事業

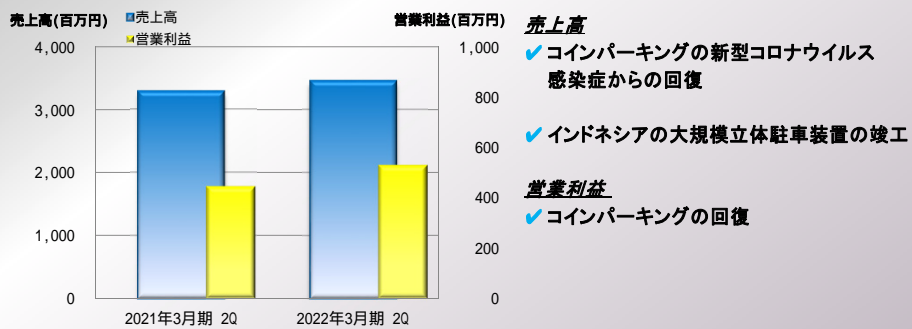


売上高比較



17

2022年3月期第2四半期 不動産賃貸等事業



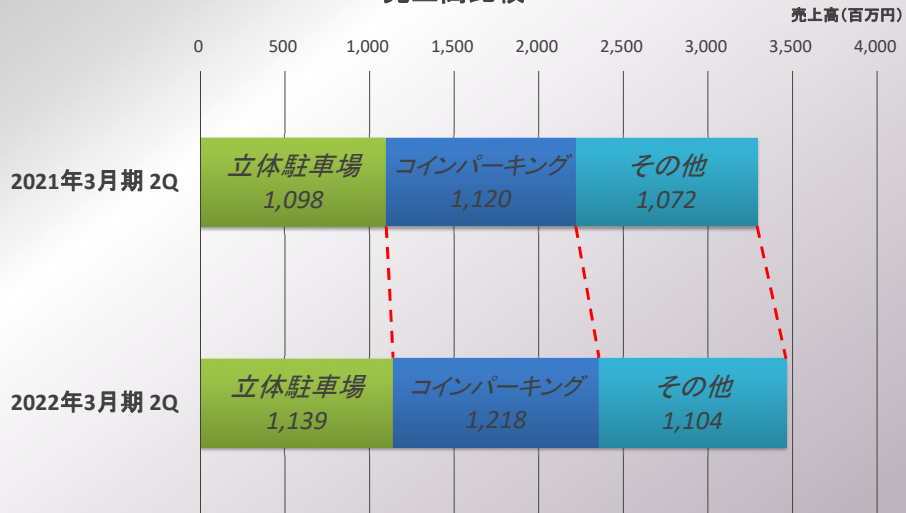
	2021年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	前期比	
売上高	3,290	3,461	+170	+5.2%
営業利益	446	531	+84	+18.9%

18

2022年3月期第2四半期 不動産賃貸等事業



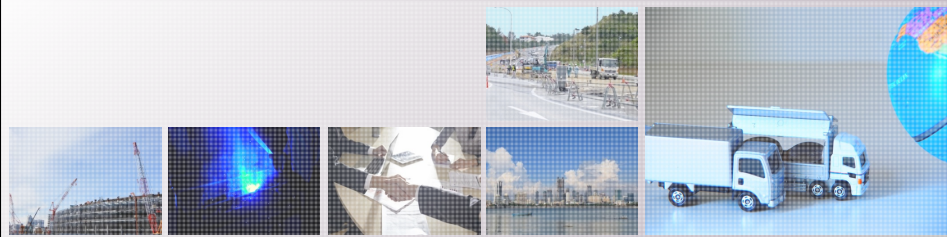
売上高比較



19



今後の取り組み



生産性の向上と利益体質の強化 ～設備投資効果の最大化



これまでに完了した設備投資の運用と今後の設備投資により
売上の拡大・生産性向上を図る

三木工場

✓ 自動溶接ロボット運用

ごみ収集車生産ライン整備



横浜工場

小型ダンプ生産ライン更新

✓ 中型ダンプ生産ライン更新

大型ダンプ自動化ライン検討

福岡工場

大型ダンプ生産体制整備

軽ダンプ自動化ライン設置

名古屋工場

✓ 新パワーゲートセンター運用

成形設備の拡充



日本トレクス



✓ PANECT®ライン運用

トレーラ生産体制整備

部品塗装ライン更新

✓ : 設備投資完了

21

将来の収益源の創出 ～海外事業の収益基盤確立



海外経済の先行きが不透明さを増す中、収益基盤確立に向けてリソースを投入
日本・中国を含めてグループで連携したクロスボーダーな事業展開を推進



22

将来の収益源の創出 ～新分野の事業確立

グループの強みを活かす既存事業周辺・応用領域をターゲット
事業の成長を加速させるため、M&A・提携も積極検討

特装車事業

環境事業

林業の成長産業化政策
(林道整備・機械化の推進)

林業分野

- 林業物流の効率化を核に
製品ラインナップを拡充



JETCUBE
(2018年)



Kantainer(2020年)

IoT・AI等の
応用研究、製品化

IoT・AI等の活用

- 製品・サービスの
付加価値向上

GOOD DESIGN
AWARD 2021

ごみ収集車安全支援システム
KIES
Kyokuto Intelligent Eye System

データ共有サービス
K-DaSS
Kyokuto Data Sharing Service

海外鉄道の市場成長
政府のインフラ輸出戦略

鉄道車両製造

- “ものづくり”に関する
シナジーを創出

北陸重機工業株式会社



コンゴ民主共和国に納入した
ディーゼル機関車(2020年)

循環経済の進展

バイオエネルギー分野 水処理等

- バイオマス燃料化やバイオ
ガスプラントの受注促進
- モリプラントの汚水処理、
堆肥化施設の全国展開を
支援



西天北サーマルリサイクルファクトリー
(2021年)

今後の当社グループにおける投資計画に関するお知らせ

2022年4月から3か年の新中期経営計画スタートに向け、本業・主力である特装車事業等の一層の強化を図り、中長期的な企業価値向上と持続的成長を実現するため、**今後約3年間で総額300億円前後の設備投資**を積極的に進めて参ります。

主要な計画

名称	目的、内容、その他
1 特装車事業 主力工場の強化	生産体制強化・合理化による生産性向上用地拡張、新工場棟建設、設備増強等
2 特装車事業 直営サービス工場増強	ストックビジネスの収益強化、アフターサービス品質向上による販売促進
3 海外事業の強化	生産体制強化のための拡張、新工場棟建設、設備増強等(インド、インドネシア、他)
4 グループ全体の 研究開発強化	新製品及び新技術開発体制の強化 (カーボンニュートラル達成のためのCASE領域や、DXを実現するAI・IoT技術) 環境事業(バイオマス利用技術)、パーキング事業における研究開発の推進 将来の新規事業の創出
5 ESG・SDGs対応 BCP対策	再生可能エネルギーの導入、社会貢献活動等SDGs達成に向けた取り組み 事務所・工場建物のBCP対策及び生産の効率化 従業員の安全と健康の確保
総額	約300億円

配当政策

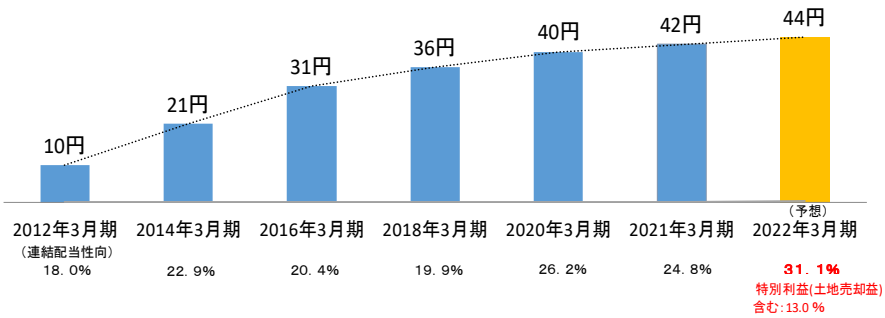
配当に関する基本方針

当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化を図りながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めています。

2022年3月期配当予想については、年間44円を予定しております。

株主還元
安定的・継続的な配当を重視
配当性向 30%前後目安

一株あたり年間配当額の推移



TOPICS

